



ビバ!女流初優勝はマダム立川

梅雨も明け、皆既日食が目前にせまった7月19日(日)、第八期練板オープンを開催した。オープンベーの出来がよく、38gがザラにあるため、35g制限が却って興をそぐ結果になってしまったが、それでもみんな朝から加工に励み、熱い戦いが繰り広げられた。

栄枯盛衰は世の習いだが、新進気鋭戦士の出現は新風を運んでくれる。予選トップ通過はダーリン立川、2位がハルミちゃん、そしてマダム立川を含め立川一家3人が決勝へ進出する。古株のみなさん、うかうかできないぞー。その他予選通過者は順に、ヤマジ、伊佐P、ミセス高橋、アキヒロ、松ちゃん、一本田口(トシ田口改め)、マックス吉岡、北馬中邨、ギン、平井おやぢ、床イシ、とーさん成田、六角デビルだ。

トップ通過のダーリン立川はデビルに逆転勝ち、波に乗るかと思っただが、マックスに手痛い敗戦、ベスト8で涙を吞んだ。そのマックスは、床イシとミセスを破り、鼻息荒い伊佐Pを逆転で下し、決勝進出を決める。一方、ハルミちゃんとの親子対決を制したマダム立川は、女性に滅法弱い松ちゃんを難なく退け、子ども王ギンちゃんをすっ飛ばし、マックスとの決勝戦に挑む。

やり難いのはマックスだろう。勝って当たり前、リキ負けしたら恥ずかしい。となれば当然、目一杯入れる。しかし、そこへマダムベーのツッケンがピタリ。ありゃりゃ、やっちゃったなあ。それを見て、ニコニコ楽しそうなマダム立川、ショルダーバックを提げたまま、つかかけ姿でヒョイと入れる。そこへ唸りをあげたマックスベーが飛び込むと、今度はパチンとすっ飛ばされる。アレレ、2本先取でマダムの優勝だあ。「私もやってみようかしら。」と、初参加のマダム立川、それで優勝だもんね。参ったなあ。ねえ、イッサ。

子ども王はギンちゃん、これで3個目

トルネード投法を封印したギンちゃんが、GP以来久しぶりに子ども王に帰り咲いた。アキヒロとの直接対決となった決勝トーナメントで、引き分け3つの後、弾き出しで決めた。怖いもの知らずだったデビュー当時とは違い、安定したフォームでその分確実性が高くなったようだ。優勝もめざせ、ギンちゃん。



マダム立川、ギンちゃん おめでとう!



名人戦7月場所は
依然マックス
が
トップ

第九期名人戦はマッチ吾野が65点でギリギリ暫定トップを死守したが、ヤマジ、床イシ、ルパン師岡、六角デビルが一気に追い上げてきた。7位に飛び込んできたミセス高橋も、Ave. トップなだけに不気味だ。そろそろみんなエンジンがかかってきたので、来場所以降は順位の変動が一段と激しくなりそうだ。